

# 12歳最年少1級合格

## ニュース検定

時事問題を読み解く力を測る「ニュース時事能力検定試験」(ニュース検定) 毎日新聞社など主催で、長野市の信州大付属長野中1年の松木孝太郎さん(12) 写真・家族提供が今年6月の第57回検定で最難関の1級に合格し、最年少合格記録だった13歳を更新した。松木さんは7



長野の中1 松木さん

歳からニュース検定を受け始め、2年前に9歳で2級に最年少合格していた。ニュース検定は年4回実施しているが、1級を受検できるのは全国37都市で開催している6月と11月の年2回。松木さんは2020年11月と昨年6月の試験は合格点に届かなかったが、中学校へ進学後も公式テキストと問題集で勉強を続け、3回目の挑戦で最年少合格を達成した。1級は四肢択一のマークシート方式のほかに記述問題もあり、約8割正解しないと合格できない。松木さん

は「1級はニュースの背景を知らない」と解けない問題が多くて難しかった。手心えはあったが、本心にうれしい」と話した。松木さんは毎日新聞社が発行する「毎日小学生新聞」でニュース検定を知り、小学生の時からクラスの出来事や地域のニュースをまとめた学級新聞を作っているという。今後の目標について「ニュースは日々新しくなるので、高得点を目指して1級を受けたい。将来はニュースを解説するジャーナリストになりたい」と目を輝かせた。【尾崎敦】